

第18回 日本ヒューマン・ナーシング研究学会 学術集会

演題募集のお知らせ

日本ヒューマン・ナーシング研究学会
事務局

新春の候、ますますご清栄のことお慶び申し上げます。遷延性意識障害や廃用症候群患者のケアに携わっておられます皆様方におかれましては、益々御盛況の事とご拝察申し上げます。

第18回目の学術集会を11月26日（土）にオンラインで開催することになりました。本年度も普段各施設で実践されている看護の成果をできるだけ研究的にまとめていただき、エビデンスの構築につなげていきたいと考えております。つきましては日頃の皆様の看護実践の成果を学術集会に発表して頂きたくご案内申し上げます。

なお、実践報告の内容を抄録集として作成いたしますので、まとめ方に関しましては以下の要領でお願いいたします。

抄録（研究・実践報告）のまとめ方

1. テーマ

看護事例の報告やケア体制上の管理的な内容、地域連携への工夫など遷延性意識障害や廃用症候群患者のケアに関すること全般。

2. 抄録の記載内容

- ・抄録の冒頭には演題名（テーマ）、発表者および共同発表者名、施設名を示す。
- ・報告内容は、（研究）目的・方法・結果・考察を示して下さい。
- ・事例報告に関しては、以下の内容を網羅して下さい。

はじめに（目的）；事例を選択した理由や報告の目的

事例紹介；事例の特徴、アセスメントなど

看護過程の展開（結果）；

看護目標（生活予後診断）、実践計画と内容、実践の評価など

考察；目的に沿って実践から考えられること

3. 作成の留意点

- ・上記の内容を参考に、A4版用紙にワープロソフト（11ポイント・横書き／Microsoft Word）をもちいて原稿を作成してください。（詳細は次ページをご参照下さい）
- ・印刷の関係上、余白サイズ、フォントを守り、**必ず1枚以内**に集約してください。
- ・抄録原稿はWordのファイルにて下記e-mailにお送りください。なお、抄録集にそのまま掲載されますのでご了承ください。

4. 締め切り・送付先

2022年 8月 26日（金）必着

〒006-8585 札幌市手稲区前田7条15丁目4-1

北海道科学大学 保健医療学部 看護学科

日本ヒューマン・ナーシング研究学会 事務局

E-mail: fukura@hus.ac.jp

5. その他

- ・発表者は、日本ヒューマン・ナーシング研究学会の会員に限らせていただきます（共同研究者はその限りではない）。会員登録がまだの方および学会参加ができない方は、事前にご登録下さい。
- ・演題登録は、HP上の演題申込用紙に必要事項をお書きの上抄録とともにメールでお申し込みください。
- ・発表順番、発表方法（時間やスライドなどに関して）は締め切り後にお知らせいたします。
- ・申し込み後1週間たっても連絡がない場合は上記まで必ずご連絡ください。

資料 原稿の書き方

- 用紙サイズ：A4 縦 図を含め1頁以内
- 抄録原稿の余白 上下：30mm/左右：25mm
- フォント サイズ11ポイント（タイトル含むすべて）、フォントはMS明朝とする。

